

2013年10月15日

SICE 北陸支部会員 各位

公益社団法人 計測自動制御学会
北陸支部

SICE Annual Conference 学生会員参加奨励賞実施報告

本年も計測自動制御学会北陸支部では、SICE Annual Conference 学生会員参加奨励賞を実施いたしました。厳正な審査の結果、2名の受賞が決定いたしました。Annual Conference 終了後に受賞者よりご提出いただいた学会参加報告書と併せて、ここに実施報告書を公開いたします。

1. 受賞者

受賞者および受賞論文の基本情報は以下の通りです。受賞者には学会参加報告書提出後に賞状および奨励金 20,000 円が贈られました。

| 受賞者氏名 | 受賞者所属 | 論文題目・著者 | 発表日時 |
|-------------------|-------------------------|---|--------------------------------------|
| たけうち かずや 竹内 和也 | 富山大学工学教育部 知能情報工学専攻 | <u>Kazuya Takeuchi</u> , Shohei Kawai, Keiji Shibata and Yuukou Horita, “Time-Independent Detection of Road Surface Conditions in Winter Using Road Surveillance Cameras” | 9月16日(月) 13:10-14:40 MoBT14.14 |
| やまもと こうた 山本 倖大 | 金沢大学自然科学研究 科電子情報工学専攻 | <u>Kota Yamamoto</u> and Shigeru Yamamoto, “Analysis of Group Chase and Escape by Honeycomb Grid Cellular Automata” | 9月15日(日) 15:30-15:45 SuCT10.3 |

2. 報告書

次項以降をご参照ください。

学会参加報告書

提出日 平成 25 年 9 月 24 日

氏名 竹内 和也

以下の通り、学会参加の報告を致します。

1. 所属
富山大学大学院 理工学教育部 知能情報工学専攻 修士課程 1 年 メディア情報通信研究室
2. 学会名
SICE Annual Conference 2013
3. 開催地
名古屋大学 東山キャンパス
4. 開催期間
平成 25 年 9 月 14 日～17 日
5. 参加したセッション
Poster Session MoBT14.14
6. 発表論文及び著者
"Time-Independent Detection of Road Surface Conditions in Winter Using Road Surveillance Cameras", SICE2013, pp. 1703-1706, Nagoya, September 16, 2013
Kazuya Takeuchi, Shohei Kawai, Keiji Shibata and Yuukou Horita
7. セッションの概要とその感想

本セッションでは 23 件のポスター発表が予定されていたが、台風 18 号の影響もあってか発表を取りやめる著者もいた。電気・電子系の計測制御工学だけではなく、画像処理による歩行者検知や動体検知など、ITS（高度交通道路システム）の研究に通じた興味を掻き立てられる発表もあった。

ポスター発表では、主張したい要点を中心に提案法を伝えることを心がけた。しかし、研究内容を英語で説明することが今まで殆ど無かったため、言葉に詰まることが何回かあった。また、質問が聞き取れないことがあり何度か聞き直してしまうこともあった。

今回の SICE Annual Conference 2013 で学んだことを活かし、今後の研究活動や発表が充実するよう努力したいと感じた。更に、国際的な場で意思疎通するためには、英語力を付ける必要があると感じた。

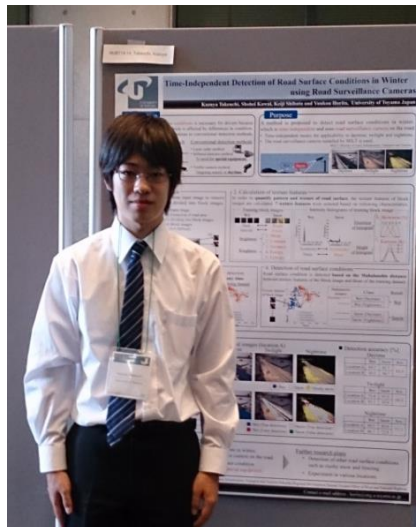


Fig. 1 ポスター発表の様子

学会参加報告書

提出日：平成 25 年 9 月 20 日
氏 名：山本 偉大

以下のとおり学会参加の報告を致します。

1. 所属

金沢大学大学院 自然科学研究科 電子情報科学専攻 博士前期課程 1 年 システム制御研究室

2. 学会名

SICE annual conference 2013

3. 開催地

名古屋大学 東山キャンパス

4. 開催期間

平成 25 年 9 月 14 日～17 日

5. 参加したセッション

レギュラーセッション SuCT10

6. 発表論文及び著者

“Analysis of Group Chase and Escape by Honeycomb Grid Cellular Automata,” SICE2013, pp. 1004–1009, Nagoya, September 15, 2013

○Kota Yamamoto, Shigeru Yamamoto (○は登壇者)。

7. セッションの概要とその感想

参加したセッションでは全部で 4 件の発表が行われた。テーマが “System and Information” ということで主に複数の要素からなるシステムの挙動についての内容であった。興味深い発表ばかりで、今後の研究の参考にできればと思った。

発表、質疑応答が全て英語で行われるなか質問が聞き取れないことや、質問への回答が思うようにこなせないことが多々あり、悔しい思いをした。

今後もこのような学会で成果を発表できるよう研究に励みたいと思った。それに加えて、そのような場で自身の成果や考えを正確に聴衆に伝えられるようにするためにも言語の力を伸ばすことが急務であると感じた。

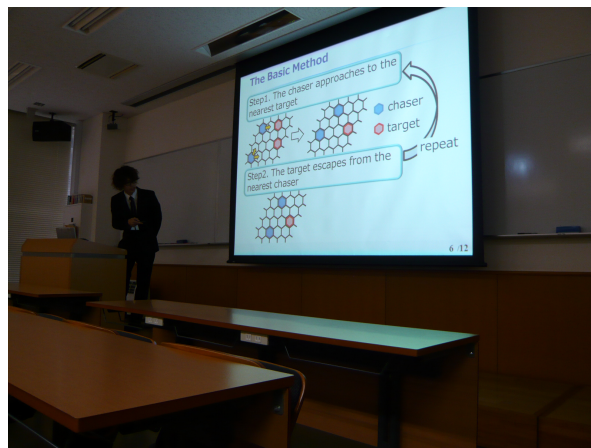


Fig. 1 講演の様子